

文化活動発表会 R.4.11.8

11月3日(木)に文化活動発表会を行いました。総合的な学習の時間(全校NET)のグループ別研究発表、音楽発表(合唱)、有志発表、学習作品の展示を行いました。生徒の文化的な活動や学習活動について、たくさんの保護者や地域の方々に見ていただくことができました。子ども達は発表準備やリハーサルを何度も重ね、緊張しながらも堂々と発表することができました。また、保護者の皆様にはバザーにご協力をいただき、収益をあげることができました。ありがとうございました。



全校NETの発表は、SDGsに関連する内容として、「地域研究グループ」と「地域貢献グループ」に分かれて研究した内容を発表しました。



音楽発表では、「校歌」、「ふるさと」、「いのちの歌」を合唱しました。コロナ禍の中、合唱練習も思うようにできない中、精一杯の合唱を披露しました。



有志発表は、3年生全員によるダンスパフォーマンスでした。練習の成果を発揮して会場を盛り上げ、3年生の絆を深めることができました。



全校NETの人物劇では、「仙波盛景物語」を演じました。坊っちゃん劇場の方に演技指導や照明などサポートしていただき、自信を持って演じることができました。

伊予市人権・同和教育研究会(参観日) R.4.11.15

11月15日(火)に「伊予市人権・同和教育研究会」が中山中学校を会場に開催されました。5校時に各学級で道徳や学級活動の参観授業、6校時には体育館で全体会として、特定失踪者大政由美さんの母親で救う会愛媛幹事の太政悦子様を講師に講演「拉致問題～特定失踪者の家族としての立場から～」をしていただきました。特に3年生は、拉致問題について計画的に学習を深めてきており、自分事としてお話を聞くことができました。



大政さんの講演を聞き、拉致問題はみんなで考えて、諦めず向き合っていかなければならない問題だと再確認することができました。私は、拉致問題は解決に向かっていないのでは...と思っていました。しかし、私の知らないところで、たくさんの人が拉致問題を解決しようと動いていることを知りました。大政さんは、娘だけではなく、拉致された全ての人を救いたいと話してくれました。拉致被害者家族のもとへ、愛する人が帰ってこられるように、「おかえり」と言えるように、授業で学んだことや講演を聞いて感じたことをもとに、私も行動をしていきたいです。

3年 久保心花

由美さんが失踪して31年、未だ何一つ解決の兆しささえ見えない現状に大変辛い思いをされている大政さんにかかる言葉もない。大政さんの講演が、中学生に深く染み入り、我が事として行動してくれることを期待している。家族が生きている間の解決を目指して一人一人ができることを行動に移すことが重要です。共に頑張りましょう。

一般参加者